

令和8年度までの目標	国語		算数	
	自校A B層の割合	44.0%	自校A B層の割合	33.8%

## 目標達成に向けた取組

3つの観点	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
<b>学校全体の取組</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の「めあて・ねらい」と「まとめ・振り返り」を必ず行う。</li> <li>・学習規律を徹底する。</li> <li>・タブレット端末の効果的な活用を目指し、研修の機会を設定したり、教員同士での情報交換をしたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週に1度、SUT（スキルアップタイム）を活用し、計算や漢字の基礎基本の定着を図る。</li> <li>・低学年からの積み重ねを大切に、当該学年の学習内容の定着を徹底する。</li> <li>・東京ベーシックドリルの診断テストを年6回行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学期の家庭学習週間における家庭学習目標時間（学年×10+10分）</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>家庭学習カードを回収、集計して達成率を出したいです。</p> </div>
<b>特に支援が必要な児童・生徒への手立て</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・C評価の児童に対して、補習等を行い、次の授業までに学習内容の定着を図る。</li> <li>・学習規律においては、アンケートを実施し、結果を基に重点項目を定め、学校全体で改善意識をもって取り組む。</li> <li>・ICT支援員の効果的な活用をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CD層に対して、放課後補習教室と連携し、支援を行う。</li> <li>・ドリルパークを活用し、ベーシックドリルテストの結果を基に、苦手な問題練習に取り組む。</li> <li>・低学年において、教員を加配し、少人数算数を実施し、きめ細かく一人一人の学習状況を把握し、指導に生かす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・達成率90%以上の児童を朝会で表彰、100%達成者には賞状を渡すなどし、意欲をもたせる。</li> <li>・ドリルパークに家庭学習や長期休業中に課題に出す。</li> </ul>
<b>成果指標</b>	<p>学習規律におけるアンケート（児童・教員）、各項目達成率</p> <p style="text-align: center;">90%以上</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>アンケートについては、添付してある資料を御確認ください。</p> </div>	<p>東京ベーシックドリルの診断テスト7割達成者</p> <p style="text-align: center;">60%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習週間における家庭学習目標時間達成率</li> <li>・保護者向け、学校評価において項目『「あなたのお子さんは、家庭で「10分×学年+10分」の勉強に取り組んでいますか。』AB評価率</li> </ul> <p style="text-align: center;">90%以上</p>